

高山の文化

No.204 2019.1.1 Culture in Takayama

謹賀新年

一般社団法人 高山市文化協会 発行



高山市昭和町1丁目 高山市民文化会館内 Tel.34-6550 Fax.34-6877
メールアドレス●mail@takayama-bunka.org
ホームページアドレス●http://www.takayama-bunka.org
文化情報番組「すばらしき文化の和」●HitsFM(76.5MHz)水曜AM9:30より放送中



益田智子「シャボン玉」サイズ50号(約110cm×70cm)。2016年に市へ寄贈。文化会館3階ロビーにて展示中。

新年の
ご挨拶
「高山市文化協会」創立七十周年を迎えて



(一社) 高山市文化協会
会長 小林 浩

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様をはじめ市民の皆様には、ご家族お揃いで希望に満ちた初春をお迎えることと、心からお慶び申し上げます。日頃は、高山市文化協会の活動に對しまして格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

平成三十年度もあと僅かとなりましたが、予定しておりました事業も滞りなく進めることができました。こ

れも偏に皆様方のご協力の賜と心から感謝とお礼を申し上げます。

特に本年度新たに企画しました「私のあしながおじさん事業」の実施は、社会的要件によって芸術鑑賞の機会に制約を受けてきた方々に、多くの企業や諸団体からの協力によって、その機会を得ていただくことができました。また「ワンコインシネマ」の実施により、映画館のなくなった飛騨地域において、広く市民の皆様が鑑賞いた

文化功労者を顕彰

高山市文化協会では、永年に亘り郷土の文化振興と発展に寄与された方の功績をたたえ、顕彰しています。本年は二名の方を、一月一日の新年市民互礼会にて顕彰いたします。(敬称略・順不同)



桐山吾朗(名田町)
セミナー講師

永年に亘り国語・文学の研究を深くされ短歌の指導などを通じて地域の文化振興に大きく貢献されましたその功績



沖村道也(相生町)
有(有)みちや寿司沖村屋三代目

永年に亘り日本料理の技術の研鑽とその普及に努められ郷土の食と文化の発展に寄与された功績

いただきました。これらの事業は、来年度も引き続き取り組みを進めてまいります。

さて本年四月末には、三十年続いた平成の時代が終わろうとしています。その間に当協会は法人化し、高山市民文化会館をはじめとする市内の文化施設を指定管理者として受託するなど、組織の大きな変革を経験してきました。いよいよ新しい年号がスタートします。今までの歴史を振り返り、次の時代に相応しく高山に根づく新しい文化を築かなければなりません。

その新しい幕開けの年に、高山市文化協会創立七十周年の節目の年を迎えることから、これを機会に伝統行事や郷土芸能の掘り起こしと保存、さらに新しい文学・美術・音楽・芸能など、将来に伝えられる創作事業を展開してま

いります。

そのためにも支所地域と一体となつて、多くの皆様当協会の日頃の活動をご理解いただき、誰でもが郷土の文化活動に参加していただける環境を整備する必要があると考えています。

また長年にわたる課題として、新しい市民文化会館の建設については、今までの調査と研究の成果を取りまとめ、さらに市民の皆様のご意見を聞くなどし、文化会館・公民館を中心に地域の核となるような施設の試案の作成作業を進めてまいります。

結びに、本年も自然災害のない平穏な生活環境のもと、当協会は文化活動を通じて、市民の皆様が心豊かに日々の生活が送れる一年でありますよう祈念申し上げます、新年のあいさつといたします。

平成31年 新春飾り物展

～干支「亥」と歌会始お題「光」～

■日時

1月18日(金)～20日(日)

午前9時～午後5時(最終日午後4時まで)

■会場

高山市民文化会館 3階
講堂(一般の部)
美術工芸室(高校生の部)

主催:高山市/(一社)高山市文化協会
共催:高山飾物同好会

道伝えの日 芭蕉忌句会 ● 入賞句発表

十一月十七日(土)に、高山市文化伝承館において開催した道伝えの日事業「芭蕉忌句会」で入賞された俳句をご紹介します。

【芭蕉忌】
選者／俳誌「飛驒」代表 小島幸男

◎一般の部(順不同)兼題句
「芭蕉忌」

【選者推薦】
堤防の野花手折りし芭蕉の忌 小林 光代

碑 高木 みつ江
山鳥の羽音に怯らし芭蕉の忌 安藤 桂

互選
【一席】
乗さす古書の可惜し翁の忌 今寺 久枝

【二席】
巾着に通す朱の紐翁の忌 栗田 美由紀

【三席】
時雨忌のしぐれに逢へり旅靴 柴田 恭子

芭蕉忌や夕空映す手水鉢 奥田 貴美子

起きしなの白湯に安らぐ翁の忌 澤木 正子

当季雑詠句(秋・冬)
【選者推薦】
積み上げて星の瞬き今年 田村 喜栄

日本中仏の声や曼珠沙華 倉田 玲子

拳ほどの小さき墓石や赤のまま 伊藤 浩子

互選
【二席】
笑ふほか無き物忘れ冬うらら 清水 京子

【二席】
南瓜つる引くや夕日の転がり来 谷口 ふさ子

みだれ萩何を問ふてもうなづけり 黒川 みつ恵

◎高校生の部(順不同)
飛驒神岡高等学校

【入賞】
廃校のスベリ台の上赤とんぼ 一年 井上 愛理

アルプスの太陽見える寒き朝 一年 谷口 皓生

テストまで流るる日々や 一年 中田 大葵

屋上に立つても届かぬ天高し 一年 古田 雅人
足下へと集まってくる秋の声 三年 小木曾 都

吉城高等学校

【入賞】

通知表開いてみれば秋麗

一年 河合 直緒

テストの日ゆつくり帰る

そぞろ寒 一年 中井 一生

流れ星君の隣で何願う

一年 築山 凜

読み終えた推理小説秋う

らら 一年 西村 侑真

靴底の色染み取れぬ山ぶ

どう 一年 三浦 大生

(一社)高山市文化協会加盟団体

文化協会後援催事

岩島玲子和装学院

【成人式チャリティー着付け】

男女ともに希望に合わせて

着付け・帯結びをします。事

前にお申し込みください。

着付け料はいただきますせん

が、募金箱を設置させていただ

き、福祉事業に寄付させて

いただきます。

◇日時 一月十三日(日)

午前九時

◇会場 高山市総合福祉セン

ター(昭和町)

◇申し込み・問い合わせ

岩島玲子和装学院内

廣瀬まで

TEL 0577-314007

TEL 090-7048-4779

JOCジュニアオリジナルコ

ンサート2019

ヤマハ音楽教室で学ぶ十五

歳以下の子供たちが心に感じ

たことを曲にし、自ら演奏す

る音楽活動の発表会です。

◇日時 一月二十日(日)

午後一時十五分

◇会場 文化会館小ホール

◇入場無料

第四回ヤマハジュニアコンク

ールコサカ楽器選考会

◇日時 二月二日(土)〜三

日(日) 時間未定

◇会場 文化会館小ホール

◇入場無料

「岡目(目)」

ユダヤ人のハラリという人が書いた「ホモデウス」という本が話題を呼んだ。「人間の未来はデータが決める。データの神に人間は駆逐されるデータ主権を握る一部の人間以外は無用者階級になる」と言う。

スマホすら十分に使いこなせない私などは、このひどい言葉の分類に入れられることになる。資本家に対する無産階級というのはあるが、今やデータの神に対する無用者階級ということになる。

人間が発明して使っていた道具に、逆に人間が使われる。そして人間は無用になる。飼いだに手を噛まれるようなものだ。その犬も元は狼を飼いに馴らしたものだ。猪を豚に馴らしたように。

猿の一派から進化した人類(ホモ・サピエンス)もデータに飼いに馴らされる。サピエンスとは「賢い」という意味だと聞いたが、「万物は流転する」と言う。しかし昨今そのスピードが速過ぎる。AI(人工知能)はまさに猪突猛進。

成年の次の今年が亥年。そして「平成」の次が来る。(ガンモンモ筆)

私のあしながおじさん 事業のお礼と募集



本年度の新事業「私のあしながおじさん」には、多数のご支援をいただきありがとうございました。

本年度は、次の企業・団体様からご支援をいただき、申し込みいただいた要支援などの児童生徒とその家族15組の皆さんへ、文化芸術鑑賞事業への無料招待をさせていただきました。

(順不同)

- ・(株)高山市民時報社・打保法律事務所・飛驒会計事務所
- ・市民時報旅行(株)・(株)狹土組・飛驒産業(株)・蜻蛉舎
- ・高山信用金庫・(株)十六銀行高山支店
- ・(有)フジ企画広告事務所・(株)二反田工務店・飛驒印刷(株)
- ・高山金融協会・大垣共立銀行 高山支店
- ・高山市商店街振興組合連合会

つきましては、来年度も本事業をご支援いただける企業・団体様を募集いたします。

詳細については、文化協会事務局までお問い合わせください。
TEL 0577-34-6550 mail@takayama-bunka.org